

(リスクアセスメント) 緊急時(災害時) 作業手順書

会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋㈱	主な設備、仕様機械	主な使用工具、器具	安全設備、保護具	使用材料
作成日	令和6年3月25日	2tトラック、3tトラック、4tユニック 2tダンプ、3tダンプ		ヘルメット、手袋、安全靴、安全チョッキ 保護メガネ、マスク、しらすんだー受信機 からまんでーW(黄旗)、レッドホーンW(赤色棒)	ブルーシート 土のう 大型土のう
改訂日	令和7年4月7日				
作成者	熊谷				
必要資格等	運転免許(普通、準中型、中型、大型、大特)			作業人員	5名
備考					その他

作業工程	No	単位作業とその主な手順	危険有害要因(予測される災害・事故) (品質、トラブルも含む)	危険要因			危険有害要因低減対策	誰が		対策後			参 考 図 (写 真 等)
				可 能 性	重 大 性	評 価		点 検 ・ 確 認	可 能 性	重 大 性	評 価		
準備工		作業前ミーティング											
	1	新規入場者のチェックをする	現場、施工方法等について十分な知識を有していない	2	2	4	新規入場者教育の受講	職長	1	2	2		
	2	健康状態を確認する	風邪、飲酒等により正常判断が出来ない	2	1	2	体調の確認、アルコールチェックを行う	職長	1	1	1		
	3	服装、保安用具の点検をする	自発光チョッキの球切れ、しらすんだーが鳴らない	2	1	2	全員で点検を実施する	全員	1	1	1		
	4	機械・工具等の点検をする	機械、工具が現場にて稼働しない	2	1	2	作業前点検を行い、機械、工具の点検をする	全員	1	1	1		
	5	朝礼、KYミーティングを行う	漠然と現場に入り事故を起こす	2	1	2	資格者証の確認、危険箇所の確認	全員	1	1	1		
	6	作業手順の確認をする	各自の作業が分からず、現場で不安全行動を起こす	3	2	6	個人の作業内容、作業手順を確認する	全員	1	2	2		
	7	規制協議書の確認	協議書通りの規制でない	2	2	4	規制作業内容の確認	全員	1	2	2		
	8	車両点検、荷姿チェックをする	作業車の積荷、スペアタイヤ、敷板の落下	2	2	4	指差呼称と触手による車両点検と物理的落下処置をする	全員	1	2	2		
移動		現場への移動											
	1	交通ルールを守り運転する	人身、物損事故	3	3	9	指差呼称を実施して安全確認する	運転手、助手	1	2	2		
	2	高速道路に入る前にプレート区間の確認	プレート区間外使用、不正使用	2	1	2	通用区間、プレート、車番を確認する	運転手、助手	1	1	1		
	3	規制進入時は保安員の指示で進入する	一般車の追突、規制内への誤進入	3	1	3	保安員は適切な誘導を行う	保安員	1	1	1		
	4	規制内に車両を駐車する	車両が動いて、他のものに接触する	3	2	6	ハンドル切、サイドブレーキ、輪止めを必ずする	全員	1	2	2		
	5	規制内での移動	車両同士の接触	2	2	4	車両の移動は必ず保安員の指示に従う	運転手	1	2	2		
			車両と作業員の接触	2	2	4	保安員は運転手から見える場所で誘導を行う	保安員	1	2	2		
本作業		緊急作業(災害)											
	1	対策本部へ現場到着の連絡をする						職長					
	2	危険箇所の明示と二次災害のリスクを関係者へ周知	危険箇所の周知不足による作業員の事故・二次災害	1	1	1	現地KY、危険箇所の注意喚起と作業員全員への周知	全員	1	1	1		
	3	本部との報連相	作業員の単独行動による事故	2	2	4	管理者の指示を受けてから作業する	全員	2	2	4		
片付け		現場離脱											
	1	清掃	ゴミが目に入る	2	1	2	保護メガネ、フェイスシールドを使用する	作業員	1	1	1		
	2	後片付け	作業車の荷の落下	2	2	4	車両移動前、荷姿チェック時に確認しておく	全員	1	2	2		
				2	2	4	ロープがけは必ず車線と反対側から行う	全員	1	2	2		
	3	作業車両離脱	一般車両との接触	2	2	4	車両の移動は必ず保安員の指示に従う	運転者	1	2	2		
				2	2	4	保安員は運転手から見える位置に立つ	保安員	1	2	2		

※交通管理隊の簡易規制内で作業する場合、2時間以上の対応を要する場合は、保全と協議し規制の入替または車線規制の協議を行う。